

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 敬愛会	代表者	高橋 恵	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一軒家を改修した事業所が住宅街の中にあり、家庭的な雰囲気を持っている。</li> <li>・大和市で唯一の単独型の小規模多機能型居宅介護事業所。</li> <li>・自治会に加入し、近隣の方のご協力があり、行事等に参加している。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 げんきステーションより道一休	管理者	大畑 由賀里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	1人	2人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善計画の内容と進捗状況を月に1回内部会議で確認する。</li> <li>・来年度の自己評価は時間にゆとりを持って行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況は月1回の内部会議で少しずつ確認を行なった。</li> <li>・時間にゆとりを持ち、9月から4項目ずつ3回に分け、自己評価を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていない項目を重点課題としたほうが良い。出来るようになるためにどのように取り組んでいくか計画を立てることが重要。小規模の中では一休は出来ているほうだと思うが、細かな取り組みが現場のスタッフに伝えきれていないのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の内部会議で全ての改善計画を職員全員に周知し、共有する。毎月進捗状況を確認する。</li> <li>・自己評価は時間にゆとりを持って行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月19日の喫茶ひとやすみのポスターを事業所外の掲示板や回覧板に掲示して参加者を募る。</li> <li>・季節感のある飾りつけで居心地の良い事業所作りに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫茶ひとやすみのポスターは作成していないが、喫茶ボードを作成し掲示した。</li> <li>・毎月担当職員が季節を意識して事業所玄関内を飾りつけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所に入り易い工夫がもっと必要。イベント毎に自治会の回覧版を使用してはどうか。</li> <li>・ポスターを作ったら、認知症カフェのメンバーに協力して貼ってもらえば良いのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一休だよりの中に喫茶ひとやすみのコーナーを設け、まず利用者家族に來所してもらえるよう働きかける。</li> <li>・事業所の外に喫茶ボードを掲示し、入りやすい雰囲気を作る。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回発行の一休だよりを自治会の回覧板に回してもらおう。</li> <li>・事業所周りの地図を完成させ、「一休だより」の裏面に載せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か催しやお知らせがある時に一休だよりの裏面に印刷し、回覧板で回してもらっている。</li> <li>・ハロウィーンのお知らせの時に簡単な地図を載せている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のハロウィーンは子供会のイベントの後で人が集まったが、人を集めるのが難しければ一休の中だけでやらず、自治会と協同したり、地域と一緒にやっていくのも一つの手だと思う。</li> <li>・災害の時など何かあった時に助け合える関係作りが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所周りの地図を完成させ、一休だよりの裏面に印刷して自治会の回覧板で回してもらおう。</li> <li>・より多くの方に親んでもらえるようハロウィーンのイベントを恒例化する。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・自治会主催の行事に、計画的にご利用者と職員が参加して、地域の方と交流を深める。</p>	<p>・防災訓練、夏祭り、餅つきには参加した。・大勢での参加は難しいが行けるときに行ける人達で参加した。</p>	<p>・地域に出向くという点から、「ひだまりサロン」等、地域で開催している集まりに参加するのも良いのではないかと。何かやる時に自治会館も活用すると良いと思う。</p>	<p>・自治会主催の行事に、計画的にご利用者と職員が参加して、地域の方と交流を深める。・認知症カフェ等の集まりにも積極的に参加していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・運営推進会議の議題の中に、「地域の中に心配な方が居ないかの確認」を入れて、居れば事例検討をする。</p>	<p>・運営推進会議の議題の中に「地域の中に心配な方が居ないかの確認」を入れ、事例検討を行った。・運営推進会議がどのようなものか知らない職員が多い。</p>	<p>・運営推進会議で「地域の中に心配な方が居ないか確認」を入れ検討していることから、関わろうとする気持ちは伝わる。その方たちが一休の登録者になる可能性もある。運営推進会議は出たことの無い人は何の会議か、何の為にやっているのか分からないと思う。ご利用者や家族も出席してもらい、一休の取り組みを知ってもらうのも良いのではないかと。</p>	<p>・特定の職員以外も運営推進会議に参加する。また、事業所のことを知ってもらおうと、出席したことの無い地域の方にも声をかけて出席していただく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・年に2回、地域の防災訓練に事業所職員が交代で参加する。 ・事業所の防災計画を運営推進会議出席者に配布する。</p>	<p>・地域の防災訓練には1度事業所職員が参加した。・事業所の防災訓練の際、防災計画を運営推進会議の出席者に配布した。</p>	<p>・今年度から水害は「避難準備情報」が出た時点で避難しなければならず、年数回の避難が予想される。まず2階に避難し、応援が来たら本部へ向かう。・本部へ行くのが難しければ自治会館を避難場所として使ってはどうか。</p>	<p>・年に2回、地域の防災訓練に事業所職員が交代で参加する。 ・事業所の火災想定での防災訓練には運営推進会議出席者に参加して頂く。水害想定での防災訓練を行う。</p>